

令和2年度 一般会計予算

提出課

企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 1. 一般管理費

(単位:千円)

事業名	区長協議会				
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目	総合計画 5住民と行政による協働のまち(1)コミュニティ ②集落活動			
	関係法令・例規				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
13,679	13,961			8,329	5,632
【事業概要及び必要性又は目的】 住民参画による地域づくりを確立するため、自治会の代表者で構成する区長協議会を支援し、町行政との連携及び自治組織の振興を図る。					
【事業の内容(事業費内訳)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治活動交付金…集落の自治活動支援のため交付するもの。 13,680千円 1世帯当たりの交付単価4,000円(世帯数は令和元年度実績数参考) ○住民登録世帯分:4,000円×3,240世帯=12,960,000円 ○住民非登録世帯分:4,000円×36世帯×1/2=72,000円 ○区長協議会出席分(1月・4月・11月)2,400円×90集落×3回=648,000円 ・区長協議会交付金…環境美化活動、避難訓練、先進地視察研修などの事業費を支援 270千円 区長協議会が実施する環境美化活動、避難訓練、先進地視察研修などの事業費を支援 ・普通旅費(区長協議会先進地視察研修随行@2,600円×4人分) 11千円 					
合計 13,961千円					
【本年度の計画効果】 区長協議会定例会の開催をはじめ、町内にて環境美化活動、防災訓練活動を行うほか、講演会の開催や各区長による自治活動先進地視察を行い、伯耆町の自治活動の促進を図る。					
【予算措置(財源内訳)】 ・地域振興基金利子 8,329千円					

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 2. 文書広報費

(単位:千円)

事業名	有線放送施設維持事業(補助金事業)				
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目	総合計画 5住民と行政による協働のまち(1)コミュニティ ②集落活動			
	関係法令・例規	電気通信事業法・有線電気通信法			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
982	963				963
【事業概要及び必要性又は目的】 集落有線放送施設の修繕等について補助を行い、地域活動を支援する。					
【事業の内容(事業費内訳)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・使用料及び賃借料(共架料・土地使用料) 663千円 ・有線放送施設整備補助金(緊急対応分) 300千円 					
合計 963千円					
【本年度の計画効果】 集落有線維持のため共架料等の負担のほか、災害対応、支障移転、老朽化した放送機器更新等に支援を行う。					
【予算措置(財源内訳)】 ・集落有線放送施設支障移転工事負担金 1千円					

令和2年度 一般会計予算

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 6. 諸費

(単位:千円)

事業名	公共施設整備事業			
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業			
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目	総合計画 1住みよさを感じるまち (2)生活基盤 ④住宅・公園・緑地 5住民と行政による協働のまち (1)コミュニティ②集落活動		
	関係法令・例規			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他
3,039	1,037			1,037
【事業概要及び必要性又は目的】				
集落公民館、公園、周辺設備等の集落が管理する施設の整備費を補助することにより、集落負担の軽減を図るとともに、地域住民の連携意識高揚及び住民参加によるまちづくりを推進する。				
【事業の内容(事業費内訳)】				
	申請数	補助金額	予算措置額	
・集落公民館等整備事業	1件	105千円+緊急対応分	100千円=	205千円
・その他付随施設整備事業	1件	470千円+緊急対応分	100千円=	570千円
・公園整備事業	1件	62千円+緊急対応分	100千円=	162千円
・集落墓地外構整備	緊急対応分のみ		100千円=	100千円
合計	3件	637千円+緊急対応分	400千円=	1,037千円
【本年度の計画効果】				
集落公民館、公園、周辺設備等の集落が管理する施設の整備に支援を行い、集落活動の促進を図る。				

令和2年度 公共施設整備補助金申請一覧表

事業名	集落名等	事業概要	補助率(%)	補助対象事業費(円)	補助申請額(円)
整備拡充等の	公民館等	添谷			
		押入棚・床間の改修	45	235,345	105,000
	各集落	災害等緊急対応分	-		100,000
計				235,345	205,000
付随施設整備	その他	古市			
		旧公民館用地の舗装等	45	1,045,000	470,000
	各区長	災害等緊急対応分	-		100,000
計				1,045,000	570,000
公園整備	真野	ブランコ、鉄棒錆落	45	138,000	62,000
	各区長	災害等緊急対応分	-		100,000
	計				138,000
外構整備	集落墓地	各区長			
		災害等緊急対応分	-		100,000
計					100,000
合計				1,418,345	1,037,000

令和2年度 一般会計予算

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 7. 企画費

(単位:千円)

事業名	集落活動支援事業			
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業			
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目	総合計画 5住民と行政による協働のまち(1)コミュニティ ①協働のまちづくり、②集落活動		
	関係法令・例規			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他
860	740			740
【事業概要及び必要性又は目的】 住民参画による協働のまちづくりを実現するために下記の事業を実施する。 また、住民の自主性、主体性に基づいて行われる地域のための活動を支援。				
【事業の内容(事業費内訳)】				
・地域活動補助事業(補助率45%)		225	千円	
【内訳:申請予定分2件(谷川・根雨原)補助額90千円、年度中途申請見込3件補助額135千円】				
・地域再編コーディネート事業・集落活性化モデル事業		120	千円(枠計上)	
・協働のまちづくり事業支援交付金(二部地区・日光地区)		380	千円(190千円×2団体)	
・需用費(消耗品等)		15	千円	
		740	千円	
【本年度の計画効果】 地域資源の活用等による自主的な活性化への取り組みや、集落の再編に向けた取り組みを支援し、町づくりの推進を図る。				

(単位:千円)

事業名	出合いの場づくり事業			
事業の種別	重要事業			
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目	総合戦略 施策③出合いの場づくり 魅力のある出合いの場づくりの提供・支援		
	関係法令・例規			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他
280	45			45
【事業概要及び必要性又は目的】 ○広域で開催される出合いの機会創出が期待される事業への参画や、とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」の登録費支援を行うことで、一人でも多くの方が成婚に結びつくよう支援する。				
【事業の内容】 (予算の状況) (単位:千円)				
科目等	内容	金額	備考	
負担金補助及び交付金	出合いの場づくり事業負担金	20	出合いの場づくり事業負担金	
その他の補助金	婚活イベント事業補助金	25	「えんトリー」登録者への補助(5,000円×5人)	
合計		45		
【本年度の計画効果】 ○中海・宍道湖・大山圏域構成市町村で組織する「出合いの場づくり事業実行委員会」に負担金を支出し、圏域合同の交流事業へ参画。 ○とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」登録者への補助を行う。(登録料10,000円の1/2助成)				

令和2年度 一般会計予算

提出課 企画課
 (目) 11. 交通安全対策費
 (単位:千円)

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費

事業名	交通安全対策事業・安全運転支援装置設置促進補助事業				
事業の種別	長期継続事業又は定例的事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目				
	関係法令・例規				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,783	1,379				1,379

【事業概要及び必要性又は目的】

- 交通安全意識の普及や高揚を目的とし、交通安全推進協議会にて各関係機関と協議を行い、各種交通安全啓発運動の実施、交通安全啓発活動を行っている団体への支援を行なう。また、高齢者等の交通事故の減少を図るため、運転免許証の自主返納を支援する。
- 全国的に高齢運転者による多数の死傷者を出す重大事故やあおり運転等が発生しており、安全運転意識の向上及び交通事故の防止並びに犯罪の抑止を図ることを目的に、ドライブレコーダーの購入、設置にかかる費用の一部を補助する。

【事業の内容】

- 年4回の交通安全運動と合同啓発活動、毎月1日・15日の啓発立ち番の実施
- 伯耆町交通安全推進協議会、伯耆町交通安全指導員協議会の運営(いずれも年1回)
- 交通安全推進を目的とした団体へ必要な消耗品を支給
(町内の保育所、小中学校の交通安全保護者の会)
- 各種団体負担金(日野川地区交通安全協会、鳥取県高速道路交通安全協議会)
- 運転免許証自主返納者へ町デマンドバス回数券又は日ノ丸バス回数券のいずれかを支給
・対象:満70歳以上の免許証自主返納者、障がい等のため免許証を自主的に返納した者
・支給:回数券3冊(11枚つづり(100円券):3,000円分) 30名分

(事業費)

旅費(交通安全対策担当者会)	9千円
消耗品(関係団体へ交通安全物資の支給等)	334千円
回転灯電気代(須村、吉定、殿河内)	14千円
回転灯修繕費	14千円
通信運搬費(バス回数券)	90千円
交通指導員保険料	63千円
交通安全指導員委託料	539千円
各種団体負担金	216千円
計	1,279千円

- ドライブレコーダー購入設置費補助
あおり運転や交通事故の抑止につながること、事故発生時の情報分析等に有用であることから、自家用車を対象に、事故やトラブル発生時の映像を残しておくドライブレコーダーの購入及び設置に要する費用の一部を補助する。
- 対象者 自動車運転免許証を保有している町内在住者かつ町税の滞納のない者
- 補助額 県の補助額(3千円)と合わせて補助対象経費の2分の1(町の補助額:上限2千円)
- (事業費)
ドライブレコーダー購入設置費補助 2千円×50台=100千円
- ※令和元年度実績 31件(令和2年2月17日現在)

【本年度の計画効果】

- 県、黒坂警察署、近隣の町と協力して交通安全運動や啓発を行い、交通安全の意識の向上を図り、交通事故のない町を目指す。